

第3学年 道徳学習指導案

日時：平成29年11月7日（火）第5校時

場所：3年2組教室（2階）

授業者：大塚 有将

児童数：19名

3 本時のねらい

自分の気持ちに偽りなく、過ちを素直に認めることですっきりすることに気付き、正直に明るく元気よく生活しようとする心情を育てる。

4 本時の展開

※ICT活用について

1 資料名：「クラスのマーク」  
（出典：広島県教科用図書販売株式会社）  
正直，誠実 A-（2）

2 指導の立場

（1）児童の実態

授業中や休み時間では仲間に積極的に関わる姿が見られ、学級全体として仲が良く、まとまっている。しかし仲間に非を指摘されたり、注意されたりすると、素直に聞き入れられず、口論になることもある。過ちを素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする心情を育てたい。

（2）本時の指導について  
【年間指導計画の工夫】

自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて明るい生活を心がけようとする姿勢をもつために、情報モラル（著作権や個人情報などについて）と関連づけた指導をする。

また、授業後に本時の内容に関わるソーシャルスキルトレーニングを行い、望ましいスキルを身につけさせる。自己の振り返りとソーシャルスキルのワークシートを用いて、評価につなぎたい。

【指導方法・指導形態の工夫】

主人公の気持ちに共感した場面で全体で共有できるように、児童が場面絵を指し示しながら発言するように指導する。

ペアによる役割演技に取り組み、対話的な学びを通して、主人公の気持ちに共感させる。

失敗の経験を思い出し、本時での学びを書くワークシートを通して、自己を見つめやすくする。

【学習環境の工夫】

大型テレビを使って、主人公の絵を提示し、その表情から気持ちを考えるための助けとする。

	過程の目標	主な学習活動	指導・援助
つかむ	○本時のねらいとする価値が分かる。	1 自分が悪いのは分かっているけれど、素直になれなくて言い出せなかったこと、あるいは正直に話して心がすっきりした経験について問いかける。	・価値の方向づけ
ふかめる	○あらすじをつかむ。  ○思わず嘘を言ってしまった自分と本当のことを言わなければいけないと思う主人公の葛藤に共感することができる。  ○素直に行動しようとするさやかの行動に共感し、望ましい言動を考える。	2 資料の範読を聞く。主人公の気持ちが分かる場所に赤線を引き、最も共感できた部分について理由を交流する。 ・さやかが「う、うん。きのう考えたの」と言ってしまったところが気になりました。 ・さやかが「あのマーク、ほんとうは」と先生に言ったところがいいと思いました。  3 主人公の気持ちについて考える。 ○「うん、きのう考えたの」と言ったさやかはどんな気持ちだったのだろう。 ・あ、嘘ついちゃった。しまったな。 ・みんながマークをほめてくれてうれしいな。 ・みかが知ったらどう思うかな。  ◎先生に本当のことを言ったさやかは、どんな気持ちだろう。 ・本当のことが言えてよかったな。 ・みかにもちゃんとあやまらなきゃ。 ・これで許してもらえるかな。  「先生、あのマークは、ほんとうは・・・」の続きを役割演技する。 ・嘘についてごめんなさい。本当はみかが作ったマークなんです。 ・みかのを勝手に真似してしまいました。ごめんなさい。	・教師の範読する箇所に定規をあてながら聞き、共感できるところに赤線を引くよう指導する。 ・児童が発言内容の様子を分かりやすく伝えるために、黒板の場面絵を指し示して話すよう助言する。  ※大型テレビで葛藤の表情のイラストを写す。 ・自分にもさやかと同じような経験をしたことがないか問うことで、人間的な弱さに共感できるようにする。  (深めの発問) ・やっと聞こえる小さな声でしか言えなかったのは、さやかがどんな気持ちだったからだろう。  ・先生役とさやか役のペアで役割演技をさせ、さやかの気持ちを考えさせる。 ・先生役は、必ずやさしくフォローをする約束を作る。
まとめる	○過ちをそのままにせず、正直に気持ちを伝えたいと思う。	4 自己を見つめる。 ○正直に本当のことが言えてすっきりしたことや、本当のことが言えなかったときの気持ちを書いてみよう。 ・持ち物を忘れたときに本当のことが言えずに、ばれたらどうしようと、どきどきしました。 ・図書館の本をなくしてしまって、図書館を使う全校の人に迷惑がかけると分かったので、これからは正直に早く言えるようにしたいです。	・「これまでの自分を振り返り、悪気がないのに、ついごまかしてしまったことや後悔していることはないか。」ワークシートに記述させ、全体交流する。  ・友達の家で、大切なものを壊してしまって、本当のことが言えずに苦しみ、後日謝りに行った経験を話す。

## 友だちの物を、こわしてしまったら

次のお話を読んで、考えてみましょう。

あすかさんのクラスでは、図工の時間に、ぎゅうにゅうパックやペットボトルを使って、ロボット作りをしました。みんなの作ったロボットが、たくさんのロッカーの上にかざってありました。

休み時間にあすかさんはロッカーから、にもつを出そうとしたら、ふくろのひもがまことさんのロボットにひっかかって、落ちてしまい、ロボットがばらばらになってしまいました。



しつもん：このような時、あすかさんは、まことさんになんと言ったらいいでしょうか？あてはまる番号に○をつけましょう。

①	「落っこちて、こわれちゃったね」と言う。
②	「落ちそうなところにおいた、Bさんが悪いんだ！」と言う。
③	「ごめんね～。こわれちゃった」と笑顔で言う。
④	「わざとじゃないからね」と言う。
⑤	「こわしちゃってごめんね」とまじめなかおで言う。
⑥	言わなきゃだれがやったかわからないから、だまっておこう。

【      】番をえらんだりゆうを書きましょう。


